

9がつうまれのおともだち
おたんじょうび おめでとうございます

植物に音楽を聞かせ続けると、成長の度合いが変化するという話を聞いたことがあります。実際はどんなものなのでしょうか。しかし、人間は耳から聞いたことが成長に大きくかかわります。身の周りで聞く言葉一つひとつがその存在を形作っていくのです。聖書のお話は要約すると「神様はあなたを愛しているよ」というメッセージです。愛されている確信が愛する人を作り上げると信じています。



★9月生まれのお友だちのお誕生会を9月15日(水)を予定しています。

今年度も園児のみでお誕生のお祝いを致します。

★これからも神様に守られて健やかに 心も体も大きくなりますようにお祈りしています。

子どもたちの「甘える壺」⑤

小学6年生頃までは「甘える壺」を意識しましょう。

小学3年・4年生頃から「第2反抗期」になり、

お母さんが手を出すことを子どもは嫌がるようになります。

でも、まだそれは自立の練習をしているだけです。

それまでに甘える壺が満たされているからこそ、子どもたちは自然に自立への練習を始めるのです。

反抗期に入ったということは、ちゃんと成長して次のステージへ上がったことを意味しています。

病気になるって小児科外来を訪れたときなど、

6年生の子でも自分の方からお母さんと手をつないだりします。

まだまだ甘えたい気持ちは残っているのです。

中学生になると部活動が始まり、

初めて自分で人間関係をつくる練習をしますから、

親は少し離れて見ていてあげた方がよいでしょう。

社会人になった頃から、子どもたちはまたお母さんに近づいていきます。

それまでは、じっと動かず、見守る事です。

引用 「たがのわ 多賀先生のあったか子育てアドバイス」 心力舎

多賀千之

多賀千之・安藤梢 編著